

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2022年12月27日まで（2012年4月10日設定）	
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジ）分配型	外国投資法人である Q T X W C M G D P F u n d が発行する円建の外国投資証券（Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ有））、マネー・プール マザーファンド受益証券
	Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ有）	世界各国の先物取引等に係る権利および金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式
	マネー・プール マザーファンド	わが国の公社債
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> 主として、世界各国の様々な先物取引を活用するとともに、世界各国の株式にも投資を行います。 ウィントン・キャピタル・マネジメント・リミテッドが提供する「マネー・フューチャーズ戦略」および「株式運用戦略」を活用します。 当該外国投資法人において、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。 	
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> 投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 	
分配方針	毎年3、6、9、12月の27日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないこともあります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジ）分配型



第40期（決算日：2022年3月28日）

第41期（決算日：2022年6月27日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジ）分配型」は、去る6月27日に第41期の決算を行いましたので、法令に基づいて第40期～第41期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近10期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債券組入比率	債券先物比率	投資信託組入比率	純資産総額
		税 分	込 配	み 金				
	円	円	円	%	%	%	%	百万円
32期(2020年3月27日)	8,511		0	△ 4.9	—	—	94.8	226
33期(2020年6月29日)	7,901		0	△ 7.2	—	—	95.0	209
34期(2020年9月28日)	7,619		0	△ 3.6	—	—	95.0	198
35期(2020年12月28日)	7,616		0	△ 0.0	—	—	95.1	195
36期(2021年3月29日)	7,800		0	2.4	—	—	94.9	200
37期(2021年6月28日)	7,823		0	0.3	—	—	94.9	194
38期(2021年9月27日)	8,016		0	2.5	—	—	95.0	169
39期(2021年12月27日)	7,661		0	△ 4.4	—	—	94.9	160
40期(2022年3月28日)	8,445		0	10.2	—	—	94.9	176
41期(2022年6月27日)	8,904		0	5.4	—	—	94.9	182

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準	価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
			騰 落 率	率			
第40期	(期 首) 2021年12月27日	円 7,661	% —	% —	% —	% —	% 94.9
	12月末	7,695	0.4	—	—	—	94.6
	2022年1月末	7,625	△ 0.5	—	—	—	95.0
	2月末	7,908	3.2	—	—	—	94.9
	(期 末) 2022年3月28日	8,445	10.2	—	—	—	94.9
第41期	(期 首) 2022年3月28日	8,445	—	—	—	—	94.9
	3月末	8,724	3.3	—	—	—	95.2
	4月末	8,849	4.8	—	—	—	95.0
	5月末	8,712	3.2	—	—	—	95.0
	(期 末) 2022年6月27日	8,904	5.4	—	—	—	94.9

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第40期～第41期：2021年12月28日～2022年6月27日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第40期首	7,661円
第41期末	8,904円
既払分配金	0円
騰落率	16.2%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ16.2%の上昇となりました。

▶ 基準価額の主な変動要因

上昇要因

為替市場やエネルギー市場の変動などが基準価額にプラスに寄与しました。

第40期～第41期：2021年12月28日～2022年6月27日

投資環境について

▶ 株式市況

日本を含む先進国の株式市況は、ロシアのウクライナ侵攻や、欧米などを中心としたロシア産原油の禁輸による需給ひっ迫懸念を受けた原油価格上昇、インフレ懸念の高まりと主要中央銀行における金融引き締め姿勢などから下落しました。新興国の株式市況も下落しました。

▶ 債券市況

日本を含む先進国の債券利回りは、主要中央銀行における金融引き締め姿勢などから上昇しました。新興国の債券利回りも上昇しました。

▶ 商品市況

原油価格は、欧米などを中心としたロシア産原油の禁輸による需給ひっ迫懸念などから大きく上昇しました。金価格は小幅に上昇しました。

▶ 為替市況

金利差が拡大したことから、円は米ドルやユーロなどに対して下落しました。

▶ 国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。

当作成期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.040%となりました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジ) 分配型

当ファンドは、外国投資法人である Q T X W C M G D P F u n d が発行する円建の外国投資証券「Q T X W C M G D P F u n d (日本円建て、ヘッジ有)」への投資を通じて、主として、世界各国の様々な先物取引を活用するとともに、世界各国の株式にも実質的に投資を行いました。また、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行いました。

当作成期末においては、Q T X W C M G D P F u n d (日本円建て、ヘッジ有) を 94.9%、マネー・プール マザーファンドを少額組み入れています。

▶ Q T X W C M G D P F u n d (日本円建て、ヘッジ有)

(当記載は、外国投資法人である Q T X W C M G D P F u n d の資料を基に、三菱 U F J 国際投信が作成したものです。)

Q T X W C M G D P F u n d では実質的にウィントン・キャピタル・マネジメント・リミテッド (以下「ウィントン社」) の「マネージド・フューチャーズ戦略」および「株式運用戦略」により

運用を行いました。両戦略への配分は、ポートフォリオのリスク等に鑑みウィントン社が決定し、主として、世界各国の株式や先物取引に実質的に投資を行いました。なお、対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかりました。

▶ マネー・プール マザーファンド

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を目指した運用を行いました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第40期	第41期
	2021年12月28日～2022年3月28日	2022年3月29日～2022年6月27日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）	-（-%）
当期の収益	-	-
当期の収益以外	-	-
翌期繰越分配対象額	826	826

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶ 国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジ) 分配型

引き続き、当ファンドが主要投資対象とする外国投資法人である Q T X W C M G D P F u n d が発行する円建の外国投資証券「Q T X W C M G D P F u n d (日本円建て、ヘッジ有)」への投資を通じて、主として、世界各国の様々な先物取引を活用するとともに、世界各国の株式にも実質的に投資を行います。また、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行います。

▶ Q T X W C M G D P F u n d (日本円建て、ヘッジ有)

(当記載は、外国投資法人である Q T X W C M G D P F u n d の資料を基に、三菱 U F J 国際投信が作成したものです。)

Q T X W C M G D P F u n d では実質的にウィントン社の「マネージド・フューチャーズ戦略」および「株式運用戦略」により運用を行います。両戦略への配分は、ポートフォリオのリスク等に鑑みウィントン社が決定します。なお、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。

マネージド・フューチャーズ戦略

主として世界中の先物及び先渡取引を投資対象とし、ウィントン社の計量分析に基づくコンピューター・プログラムにより取引対象の値動きの方向性を捉え追隨すること(トレンド・フォローストрат)によって収益の獲得を目指します。当戦略は、世界中の100以上の様々な市場に投資をすることで分散ポートフォリオを構築、ロング・ポジション(買い持ち)及びショート・ポジション(売り持ち)の両方を駆使することで特定の市場における資産価格の上昇のみに依存しないように設計されています。

株式運用戦略

世界中の株式を投資対象とし、現物株式や株式指数のロング・ポジション(買い持ち)又はショート・ポジション(売り持ち)を活用する、株式市場の上昇だけに依存しない収益の獲得を目指す戦略です。取引対象の売買判断及び配分比率の決定はウィントン社の計量分析に基づくコンピューター・プログラムにより行われます。

▶ **マネー・プール マザーファンド**

今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保を目指した運用を行う方針です。

2021年12月28日～2022年6月27日

1万口当たりの費用明細

項目	第40期～第41期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	52	0.620	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(23)	(0.274)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(28)	(0.329)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.016)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.005	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.005)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	52	0.625	

作成期中の平均基準価額は、8,364円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

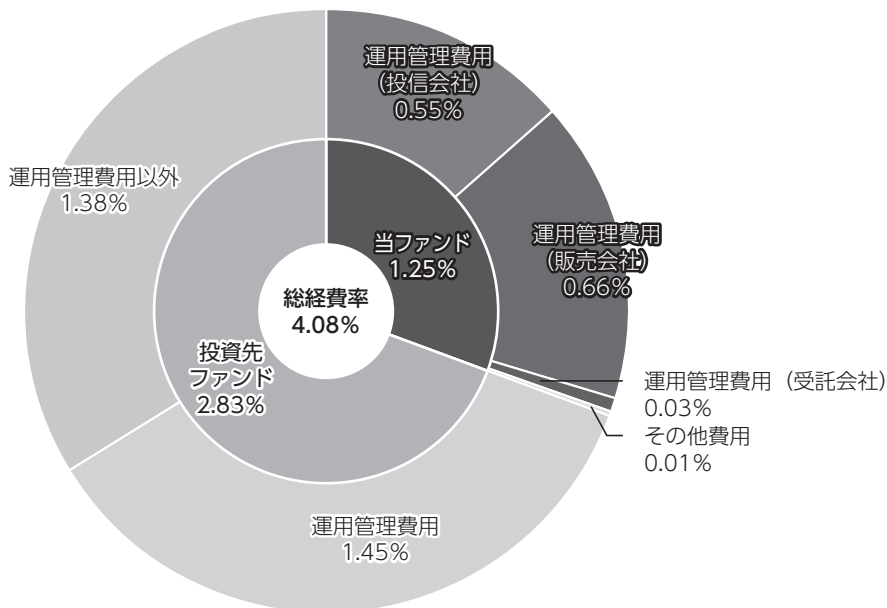
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は4.08%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	4.08
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.25
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	1.45
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	1.38

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年12月28日～2022年6月27日)

投資信託証券

銘柄		第40期～第41期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	QTX WCM GDP Fund (日本円建て、ヘッジ有)	千口 0.3415 (△0.0589)	千円 400 (-)	千口 5	千円 6,300

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は分割・合併および償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2021年12月28日～2022年6月27日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年6月27日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		第39期末		第41期末		
		口数	金額	口数	評価額	比率
	QTX WCM GDP Fund (日本円建て、ヘッジ有)	千口 150	千円 144	千口 144	千円 173,631	% 94.9
	合計	150	144	144	173,631	94.9

(注) 比率は国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジ）分配型の純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘柄		第39期末		第41期末	
		口数	金額	口数	評価額
	マネー・プール マザーファンド	千口 99	千円 99	千口 99	千円 99

○投資信託財産の構成

(2022年6月27日現在)

項 目	第41期末	
	評 価 額	比 率
投資証券	千円 173,631	% 94.6
マネー・プール マザーファンド	99	0.1
コール・ローン等、その他	9,736	5.3
投資信託財産総額	183,466	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第40期末	第41期末
	2022年3月28日現在	2022年6月27日現在
	円	円
(A) 資産	176,802,539	183,466,986
コール・ローン等	9,391,867	9,735,756
投資証券(評価額)	167,310,722	173,631,280
マネー・プール マザーファンド(評価額)	99,950	99,950
(B) 負債	557,935	594,600
未払信託報酬	512,244	562,607
未払利息	-	12
その他未払費用	45,691	31,981
(C) 純資産総額(A-B)	176,244,604	182,872,386
元本	208,700,931	205,371,850
次期繰越損益金	△ 32,456,327	△ 22,499,464
(D) 受益権総口数	208,700,931口	205,371,850口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,445円	8,904円

○損益の状況

項 目	第40期	第41期
	2021年12月28日～ 2022年3月28日	2022年3月29日～ 2022年6月27日
	円	円
(A) 配当等収益	△ 179	△ 435
受取利息	7	-
支払利息	△ 186	△ 435
(B) 有価証券売買損益	16,870,269	10,007,152
売買益	16,922,040	10,217,874
売買損	△ 51,771	△ 210,722
(C) 信託報酬等	△ 516,746	△ 567,559
(D) 当期損益金(A+B+C)	16,353,344	9,439,158
(E) 前期繰越損益金	△51,796,088	△34,877,403
(F) 追加信託差損益金	2,986,417	2,938,781
(配当等相当額)	(7,349,138)	(7,231,913)
(売買損益相当額)	(△ 4,362,721)	(△ 4,293,132)
(G) 計(D+E+F)	△32,456,327	△22,499,464
(H) 収益分配金	0	0
次期繰越損益金(G+H)	△32,456,327	△22,499,464
追加信託差損益金	2,986,417	2,938,781
(配当等相当額)	(7,349,138)	(7,231,913)
(売買損益相当額)	(△ 4,362,721)	(△ 4,293,132)
分配準備積立金	9,900,042	9,742,128
繰越損益金	△45,342,786	△35,180,373

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首(前作成期末)元本額 209,660,625円
 作成期中追加設定元本額 0円
 作成期中一部解約元本額 4,288,775円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.8904円です。
- ②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は22,499,464円です。
- ③分配金の計算過程

項 目	2021年12月28日～ 2022年3月28日	2022年3月29日～ 2022年6月27日
費用控除後の配当等収益額	-円	-円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	-円	-円
収益調整金額	7,349,138円	7,231,913円
分配準備積立金額	9,900,042円	9,742,128円
当ファンドの分配対象収益額	17,249,180円	16,974,041円
1万口当たり収益分配対象額	826円	826円
1万口当たり分配金額	-円	-円
収益分配金金額	-円	-円

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お 知 ら せ】

当ファンドは信託約款に基づき、2022年12月27日に信託期間を終了し満期償還となる予定です。

〈参考〉投資する投資信託証券およびその概要

当ファンドは、国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジ）分配型が投資対象とする外国投資法人である Q T X W C M G D P F u n d が発行する円建の外国投資証券です。

名 称	Q T X W C M G D P F u n d
投資証券（シェア・クラス）の名称	Q T X W C M G D P F u n d (日本円建て、ヘッジ有)
形 態	ケイマン籍外国投資法人
投資の基本方針	主として、世界各国の様々な先物取引を活用するとともに、世界各国の株式にも投資を行います。原則として米ドル売り、円買いの為替ヘッジを行います。
運 用 方 針	<p>ウィントン社の「マネージド・フューチャーズ戦略」および「株式運用戦略」により運用を行います。両戦略への配分は、ポートフォリオのリスク等に鑑みウィントン社が決定します。</p> <p>【マネージド・フューチャーズ戦略】 主として世界中の先物及び先渡取引を投資対象とし、ウィントン社の計量分析に基づくコンピューター・プログラムにより取引対象の値動きの方向性を捉え追従すること（トレンド・フォロー戦略）によって収益の獲得を目指します。当戦略は、世界中の100以上の様々な市場に投資をすることで分散ポートフォリオを構築、ロング・ポジション（買い持ち）及びショート・ポジション（売り持ち）の両方を駆使することで特定の市場における資産価格の上昇のみに依存しないように設計されています。</p> <p>【株式運用戦略】 世界中の株式を投資対象とし、現物株式や株式指数のロング・ポジション（買い持ち）又はショート・ポジション（売り持ち）を活用する、株式市場の上昇だけに依存しない収益の獲得を目指す戦略です。取引対象の売買判断及び配分比率の決定はウィントン社の計量分析に基づくコンピューター・プログラムにより行われます。</p>
投資顧問会社	ウィントン・キャピタル・マネジメント・リミテッド
ア レ ン ジ ャ ー	ゴールドマン・サックス・インターナショナル
設 定 日	2012年4月12日
会 計 年 度	毎年1月1日から12月31日まで

※ Q T X W C M G D P F u n d は日本において届出は行われておらず、日本において Q T X W C M G D P F u n d への直接投資を行うことはできません。

※ ウィントン社の運用は、Q T X W C M G D P T R A D I N G を通じて行われます。

QTX WCM GDP Fund

包括利益計算書、純資産変動計算書、投資概況は、入手可能なFinancial Statementsから抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

1. 包括利益計算書

QTX WCM GDP Fund

2020年12月31日に終了した年度

(米ドルで表示)

投資損益*純損益を通じて公正価値で測定する金融商品*

QTX WCM GDP TRADINGに係る未実現損益の純変動 (2,500,092)

QTX WCM GDP TRADINGに係る実現損益 (純額) 501,023

デリバティブに係る未実現損益の純変動 13,190

デリバティブに係る実現損益 (純額) 208,003

金融商品の償却原価

為替に係る未実現損益の純変動 (915)

為替に係る実現損益 (純額) (1,861)

維持管理料の割り戻し 180,617

受取利息 3,180

投資純損益 (1,596,855)

運用費用

運用受託報酬 170,105

市場への接続費用 85,042

ファンド管理報酬 48,501

支払利息 —

成功報酬 —

その他の費用 193,963

運用費用合計 497,611

運用による純資産の増減 (純額) US\$ (2,094,466)

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

包括利益計算書（続き）

Q T X W C M G D P T R A D I N G *

2020年12月31日に終了した年度

（米ドルで表示）

投資損益*純損益を通じて公正価値で測定する金融商品*

デリバティブに係る未実現損益の純変動	457,395
デリバティブに係る実現損益（純額）	(2,437,176)
株式投資に係る未実現損益の純変動	—
株式投資に係る実現損益（純額）	—
受取配当金	22,804
スワップ取引による受取利息	243
支払配当金	(45,673)
スワップ取引による支払利息	(17,966)

金融商品の償却原価

為替に係る未実現損益の純変動	(375)
為替に係る実現損益（純額）	20,474
受取利息	46,203
その他の収益	—

投資純損益 (1,954,071)
運用費用

支払委託手数料	30,637
支払利息	11,710
その他の費用	154

運用費用合計 42,501

源泉徴収税	2,497
-------	-------

運用による純資産の増減（純額） **US\$** (1,999,069)

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

*本報告書において「Q T X W C M G D P T R A D I N G」を「Trading Fund」ということがあります。

2. 純資産変動計算書

Q T X W C M G D P F u n d

2020年12月31日に終了した年度

(米ドルで表示)

期首		20,552,436
運用による純資産の増減額		(2,094,466)
資本取引		
un-hedged redeemable preference shares 発行		161,454
un-hedged redeemable preference shares 償還		(3,334,569)
hedged redeemable preference shares 発行		60,823
hedged redeemable preference shares 償還		(923,295)
等化調整		—
		(4,035,587)
期末		US\$ 14,422,383
所有者の内訳		
ordinary shares の所有者に属する純資産		2
redeemable preference shares の所有者に属する純資産		US\$ 14,422,381

Q T X W C M G D P T R A D I N G

2020年12月31日に終了した年度

(米ドルで表示)

期首		19,023,043
運用による純資産の増減額		(1,999,069)
資本取引		
redeemable preference shares 償還		(10,558,000)
期末		US\$ 6,465,974
所有者の内訳		
ordinary shares の所有者に属する純資産		2
redeemable preference shares の所有者に属する純資産		US\$ 6,465,972

3. 投資概況

Q T X W C M G D P F u n d

金融商品

(米ドルで表示)

	純資産比率	公正価値 (2020年12月31日)
Investment in Trading Fund	44.83%	6,465,972
<i>Derivative assets</i>		
Forward currency exchange contracts	0.27%	39,597
Total financial assets at fair value	45.10%	US\$ 6,505,569

Q T X W C M G D P T R A D I N G

金融商品

(米ドルで表示)

	純資産比率	公正価値 (2020年12月31日)
<i>Derivative assets</i>		
CFDs	0.00%	—
Forward currency exchange contracts	0.41%	26,286
Futures contracts	6.74%	435,760
Total financial assets at fair value	7.15%	US\$ 462,046
<i>Derivative liabilities</i>		
Forward currency exchange contracts	0.02%	1,570
Futures contracts	0.89%	57,490
Total financial liabilities at fair value	0.91%	US\$ 59,060

投資概況 (続き)

Q T X W C M G D P T R A D I N G

為替のエクスポージャー

(2020年12月31日現在)

	金融資産	金融負債	ネット・エクスポージャー
Australian dollar	50,601	—	50,601
Brazilian real	8,849	—	8,849
British pound	28,964	(1,086)	27,878
Canadian dollar	28,091	(6,661)	21,430
Czech koruna	338	—	338
Denmark krone	4,208	(598)	3,610
Euro	161,350	(35,262)	126,088
Hong Kong dollar	1	(3)	(2)
Hungarian forint	—	(99)	(99)
Indian rupee	2	—	2
Indonesian rupiah	—	(4)	(4)
Israeli shekel	—	(5)	(5)
Japanese yen	25,893	(36,610)	(10,717)
Malaysian ringgit	13,865	—	13,865
New Zealand dollar	—	(169)	(169)
Norwegian krone	88	(47)	41
Philippine peso	—	(4)	(4)
Polish zloty	—	(92)	(92)
Russian ruble	1	—	1
Singapore dollar	—	(2)	(2)
South African rand	69	—	69
Swedish krona	1,444	(39)	1,405
Swiss franc	—	(271)	(271)
Taiwan dollar	2	—	2
Turkish lira	362	—	362
US\$	324,128	(80,952)	243,176

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

デリバティブ金融資産

(2020年12月31日現在)

デリバティブ資産	満期	契約数	名目	公正価値
Forward currency exchange contracts	Jan 21-Mar 21	10	US\$ 2,775,545	26,286
Commodity futures contracts	Jan 21-Dec 21	134	6,472,658	287,763
Currency futures contracts	Mar 21	61	4,871,825	53,504
Index futures contracts	Jan 21-Mar 21	32	2,996,270	56,715
Interest rate futures contracts	Mar 21-Dec 23	348	82,894,935	37,778
CFDs	Current	462	3,145,087	—
			US\$	462,046

デリバティブ負債	満期	契約数	名目	公正価値
Forward currency exchange contracts	Jan 21	2	US\$ 107,605	1,570
Commodity futures contracts	Jan 21-May 21	34	1,426,297	45,483
Currency futures contracts	Mar 21	6	726,675	5,204
Index futures contracts	Jan 21-Mar 21	4	395,854	2,207
Interest rate futures contracts	Mar 21-Dec 23	26	5,942,561	4,596
			US\$	59,060

マネー・プール マザーファンド

《第25期》決算日2022年1月14日

[計算期間：2021年7月15日～2022年1月14日]

「マネー・プール マザーファンド」は、1月14日に第25期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第25期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	券率	債先物比率	券率	純資産額
	円	騰落率					
21期(2020年1月14日)	10,041	△0.0	—	—	—	—	百万円 130
22期(2020年7月14日)	10,041	0.0	—	—	—	—	117
23期(2021年1月14日)	10,041	0.0	—	—	—	—	230
24期(2021年7月14日)	10,040	△0.0	—	—	—	—	141
25期(2022年1月14日)	10,040	0.0	—	—	—	—	52

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		債組入比率	券率	債先物比率	券率
	円	騰落率				
(期首) 2021年7月14日	10,040	—	—	—	—	—
7月末	10,040	0.0	—	—	—	—
8月末	10,040	0.0	—	—	—	—
9月末	10,040	0.0	—	—	—	—
10月末	10,040	0.0	—	—	—	—
11月末	10,040	0.0	—	—	—	—
12月末	10,040	0.0	—	—	—	—
(期末) 2022年1月14日	10,040	0.0	—	—	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

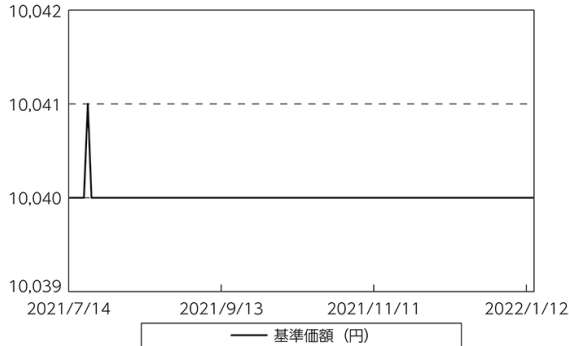
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ横ばいとなりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

利子等収益が積み上がったことが基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

運用資金に対するマイナス金利適用などが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。

当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.020%となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

○今後の運用方針

消費者物価の前年比は依然として2%を大きく下回っており、今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2021年7月15日～2022年1月14日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2021年7月15日～2022年1月14日)

その他有価証券	
---------	--

		買付額	売付額
国内	コマーシャル・ペーパー	千円 2,099,999	千円 2,199,999

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2021年7月15日～2022年1月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年1月14日現在)

2022年1月14日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2022年1月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 52,975	% 100.0
投資信託財産総額	52,975	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年1月14日現在)

項目	当期末 円
(A) 資産	52,975,883
コール・ローン等	52,975,883
(B) 負債	29
未払解約金	16
未払利息	13
(C) 純資産総額(A-B)	52,975,854
元本	52,766,508
次期繰越損益金	209,346
(D) 受益権総口数	52,766,508口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,040円

<注記事項>

- ①期首元本額 140,827,312円
 期中追加設定元本額 3,333,052円
 期中一部解約元本額 91,393,856円
 また、1口当たり純資産額は、期末1,0040円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

マナー・プール・ファンドVI	36,277,569円
世界投資適格債オープン(為替ヘッジあり)(毎月決算型)	5,154,901円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) マナー・プール・ファンドX(年2回決算型)	3,042,285円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) マナー・プール・ファンドIX(1年決算型)	1,996,342円
トレンド・アロケーション・オープン	997,308円
米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型) 為替ヘッジあり	996,215円
米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型) 為替ヘッジなし	996,215円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型)	769,078円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース(毎月決算型)	220,146円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	125,062円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型)	119,857円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) インド・ルピーコース(毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) 為替ヘッジなしコース(毎月決算型)	99,602円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース(毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース(1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 米ドルコース(1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) メキシコ・ペソコース(毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) メキシコ・ペソコース(1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 円コース(1年決算型)	99,592円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン(円ヘッジ) 分配型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン(円ヘッジ) 成長型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン(円ヘッジなし) 成長型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン(円ヘッジなし) 分配型	99,561円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) トルコ・リラコース(毎月決算型)	19,961円

○損益の状況 (2021年7月15日~2022年1月14日)

項目	当期 円
(A) 配当等収益	△ 6,964
受取利息	206
支払利息	△ 7,170
(B) 当期損益金(A)	△ 6,964
(C) 前期繰越損益金	569,961
(D) 追加信託差損益金	13,292
(E) 解約差損益金	△366,943
(F) 計(B+C+D+E)	209,346
次期繰越損益金(F)	209,346

(注) (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	ロシア・ルーブルコース (毎月決算型)	9,986円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	ロシア・ルーブルコース (1年決算型)	9,986円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	インドネシア・ルピアコース (1年決算型)	9,986円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	中国元コース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	南アフリカ・ランドコース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	中国元コース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	南アフリカ・ランドコース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	トルコ・リラコース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	トルコ・リラコース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	ユーロコース (毎月決算型)	9,959円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	ユーロコース (1年決算型)	9,959円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジあり)	年2回決算型		9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジなし)	年2回決算型		9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジなし)	毎月決算型		9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジあり)	毎月決算型		9,952円
欧州アクティブ株式オープン (為替ヘッジあり)			4,979円
欧州アクティブ株式オープン (為替ヘッジなし)			4,979円
合計			52,766,508円